

— 広 告 —



岸本 大輝 (きしもと ひろき)
金沢工業大学大学院工学研究科
電気電子工学専攻
博士前期課程二年
山梨県立甲府第一高等学校出身

ともかく先生方の面倒見の良さに 研究を続ける楽しさがありました。

進学校から首都圏の公立大学を
目指したが失敗。予備校の先生か
ら金沢工大を勧めてもらおうとい
う経緯があった。岸本さんは「面倒
見のいい大学」という言葉を信じ
たのである。実際、その通りであ
った。課題に行き詰まったときな
ど、マンツーマンでしっかりと時間
をとってもらえたのである。

「企業から来た先生が多くて、
その体験が反映されているところ。
それから、入試的には入りやすい
んですが、卒業するまでの伸びが
高いかなと思うんです。内外の学
会で発表させていた দিয়ে、まさ
か賞を取ったりできるなんて思い
ませんでしたからね。その分、必死
で勉強しましたね。プロジェクト
デザイン教育も金沢工大ならではの
と思いますし、それは考えること

を習慣づけてくれますから。」

岸本さんは三年生の後学期で研
究室を選ぶとき、伊東健治教授の
無線で電力を送るといふ研究に興
味を持った。そのとき目標が見え
たのである。伊東先生は三菱電機
出身で、専門は主に高周波タイオ
ードやトランジスタを用いたマイ
クロ波半導体回路である。

「考え方がすごい論理的。製品
開発もされていたので、研究者だ
ということがヒシヒシと伝わって
きます。しかも多趣味でおもしろ
いですよ。研究では、アンテナの
野口啓介教授、半導体の井田次郎
教授など、いろんな先生にお話を
聞いたのが良かったですね。タイ
の国際会議2018 Thailand-Japan
Microwaveでは、学生発表賞の
Young Researcher Encouragement
Awardをいただいたことがありました。」

岸本さんの現在の研究テーマは
「無線電力伝送用レクテナの直接
整合方式の研究」であり、タイで

の発表は、その中の一つであった。
海外ではカナダのWPTCで、国
内では電子情報通信学会などで四
回。伊東先生に激励されながら失
敗を乗り越えた研究の成果が、着
実にここに表れている。

「就職は株式会社エム・シー・
シーに内定しました。防衛省で使
われる衛星通信サービスを提供す
る技術企業です。学部四年のとき
に約十日間のインターンシップに
出かけて、社員のみなさんがとて
も好印象でしたし、衛星から地球
局までのシステムを支える仕事の
会社だということ、気になって
いたんです。第一志望でした。」
高度な技術力が必要とされ、社
内競争も厳しいだろうが、教育付
加価値の高さを誇る金沢工大生と
しての岸本さんの本領は、存分に
発揮されるにちがいない。

金沢工業大学
石川県野々市市扇が丘七-1
電話番号(076)248-1100

KIT
キャンパス
レポート
文・出島二郎
マーケティングプランナー